

令和3年度 老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業
適切な介護予防ケアマネジメント手法の普及促進に向けた調査研究事業

令和3年度

介護予防ケアマネジメント オンデマンド研修

資 料

一般財団法人 長寿社会開発センター

= オンデマンド研修の受講について =

配信期間 令和4年1月25日～3月31日

視聴については、右のQRコードまたは、
長寿社会開発センターのHPからご覧いただけます。



長寿社会開発センター

検 索



介護予防ケアマネジメント オンデマンド研修

1

カリキュラム

- chapter- 1 自立支援について考える
- chapter- 2 介護保険制度の基本理念
- chapter- 3 介護予防の基本的な考え方
- chapter- 4 介護予防ケアマネジメントの過程
- chapter- 5 介護予防ケアマネジメントの過程（インテーク）
- chapter- 6 介護予防ケアマネジメントの過程（アセスメント①）
- chapter- 7 介護予防ケアマネジメントの過程（アセスメント②）
- chapter- 8 介護予防ケアマネジメントの過程（アセスメント③）
- chapter- 9 介護予防ケアマネジメントの過程（目標設定）
- chapter-10 介護予防ケアマネジメントの過程（プランニングからモニタリング・評価）
- chapter-11 まとめ

2

chapter_1

1. 自立支援について考える

3

あなたが
考える
自立支援
とは？

4

自立支援のために取り組むこと

行 政

一般市民への啓発、ケアマネジャーや地域包括支援センターの研修会等の充実、介護事業所向け研修の開催、自立支援に資する地域ケア会議等の定期開催の工夫
ケアプラン点検・支援確認 等

地域包括支援センター

自立支援に関する考え方を研修やケアマネジャーとの交流会で伝達
地域包括支援センター内での事例検討、各部会での取り組み等
(啓発方法の工夫や質の向上を目指す取り組みなど)

ケアマネジャー

自立支援に資する地域ケア会議への参加や、
居宅内での事例検討等



個別事例の課題解決の経過を共有しながら
【成功体験を積み重ね】
自立支援についての共通認識を醸成



大切な地域づくりの視点

地 域



利用者と家族



ケアマネジャー
地域包括支援
センター

働きかけ

地域住民・地縁組織・
各種団体・企業・NPO等
認知症地域支援推進員・
生活支援コーディネーター・
介護事業所等
地域ケア会議・協議体
地域づくりの場

1. 見守りや支え合いのネットワークづくり (互助)
2. 活躍の場づくり・マッチング
3. 地域課題の解決
4. 総合事業サービスの改良・創設
5. 地域の組織化
6. 行政への働きかけ(公助)
7. その他

よくある事例

地域包括支援センター・ケアマネジャーの思い

「要支援者だから、外に出る場所もないし、足腰が弱くなってきたら、デイサービスに通って、足腰をしっかりとしてあげたい」と従前相当のデイサービスの利用を調整。

【目標】 足腰を強くして、再び地域のサロンに通いたい。
半年が経過すると、、、

利用者の思い

「友達もできたし、ここで過ごし続けたい」と願うようになっている。
利用当初の「足腰を強くして再び、地域のサロンに通いたい」と一緒に立てた目標を共に忘れてしまう。



モニタリング不足、、、、

地域包括支援センター・ケアマネジャー

本人がそう思っていて、しかも、デイサービスに来ることで状態が維持が出来ているのなら、それでいいか・・・と考える（もう、お歳だから・・・）。

7

結 果

デイサービスが唯一の社会参加の場となり、活動性は向上せず、時を経て老化に伴い心身機能が低下し、次の目標は「デイに通って足腰の筋力低下を防ぐ」となってしまう。

落とし穴

高齢者の心身の変化を見過ごし、安易に「継続」することが心身機能の「維持」につながると考え、モニタリングがおろそかになる。

高齢者の《残存能力》や《可能性》を見極めるということを怠り「もう歳だから仕方ない」と考えて、確かなアセスメントを行わず、デイサービスを唯一の社会参加の場とすることで、自身の心身機能の維持のために必要だと考える利用者や家族を増してきた。他にも様々な活動の場所があり、活動量をあげる方法はあったはず・・・

（例）セルフケアの提案、元々、参加していた地域活動や趣味の再開、
新たな活動場所の提案、家庭や地域内での役割の再獲得など



8

